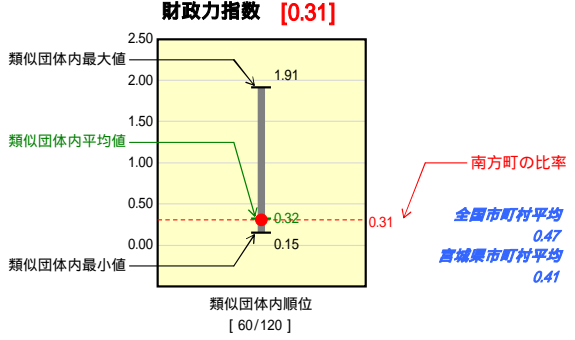


市町村財政比較分析表(平成16年度決算)

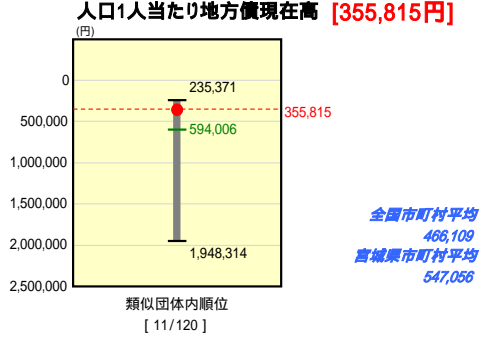
宮城県 南方町

人口	9,393 人(H17.3.31現在)
面積	40.26 km ²
歳入総額	5,099,214 千円
歳出総額	5,051,480 千円
実質収支	47,734 千円

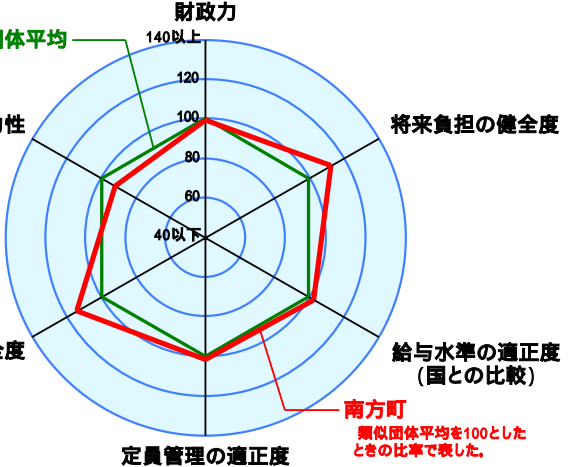
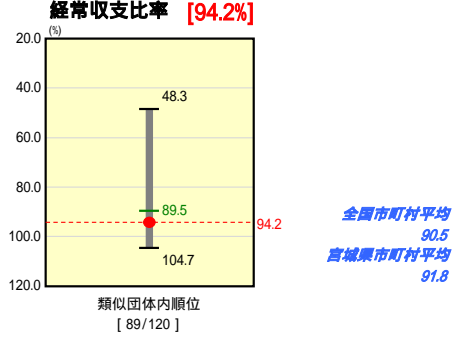
財政力



将来負担の健全度

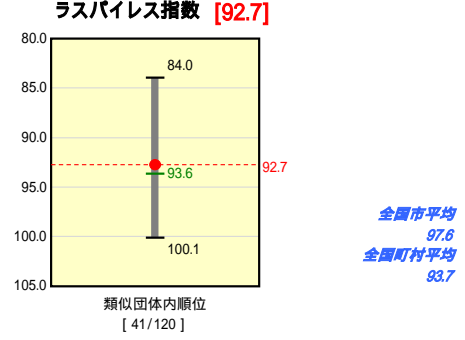


財政構造の弾力性

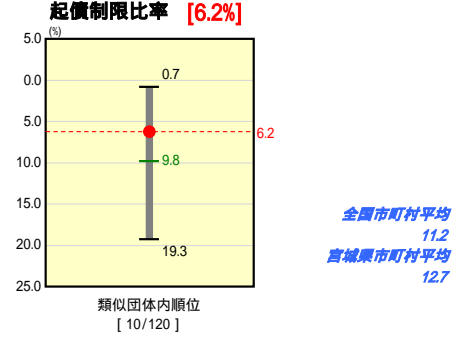


類似団体とは、人口および産業構造等により全国の市町村を88のグループに分類した結果、当該団体と同じグループに属する団体を言う。

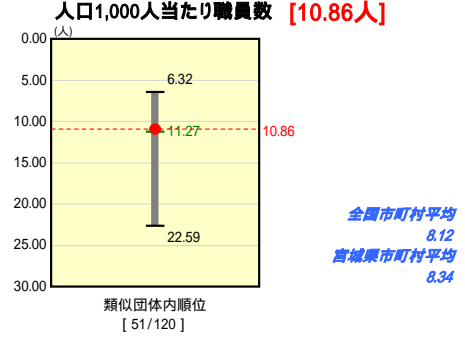
給与水準の適正度(国との比較)



公債費負担の健全度



定員管理の適正度



分析欄

財政力指数
・人口の減少、高齢化に加え、基幹産業である農業収入の低迷、大きな工場集積等がないことから税収も少なく、類似団体平均と比較して0.01ポイント下回っている。今後も行政の効率化に努めながら財政の健全化を図る。

経常収支比率
・平成17年4月1日合併に伴う打ち切り決算により、本来、出納整理期間中に歳入すべき歳入が新市の歳入となったことにより比率が上昇する結果となった。通常年であれば、89.6%程度が見込まれるものであり、義務的経費の削減等により、現在の水準の維持に努めている。

起債制限比率
・これまでの起債抑制策により類似団体平均をだいぶ下回っており、今後も新規発行の抑制に努めていく。

人口1人当たり地方債現在高
・現在のところ類似団体平均と比較し健全度はかなり高いが、平成15年度から庁舎等総合交流拠点整備事業に着手しており、新規の地方債発行が見込まれる。このことから、他事業における地方債発行の抑制等により、類似団体平均を上回ることのないよう努める。

ラスパイレス指数
・類似団体平均よりも0.9ポイント低い水準にある。人件費の縮減を図るため、各種手当の廃止、縮減、課の統廃合による管理職の削減等に努めている。

人口1,000人当たり職員数
・行政改革の取り組みによる新規職員採用抑制策により、類似団体平均を下回っている。

平成17年4月1日、合併により「登米市」となる